

## 第6回 いの町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：平成22年3月1日（月） 15:00～16:00

場所：いの町立伊野公民館 2階大集会室

### 1. 議事次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
  - 第1号 パブリックコメント結果について
  - 第2号 公共交通連携計画（案）について
  - 第3号 公共交通連携計画 概要版（案）について
4. 意見交換
5. その他
6. 閉会

### 2. 出席者

別紙 出欠確認表 参照

### 3. 議題

#### 4. 意見交換

- 第1号 パブリックコメント結果について
- 第2号 公共交通連携計画（案）について
- 第3号 公共交通連携計画 概要版（案）について

（委員）

・今回のアンケート回収率は6割ということであるが、一般的に高い数値なのか。

（事務局）

・他都市の事例では25%～30%程度であり、いの町では高い数値である。多くの住民の意見が反映された計画となっている。

（委員）

・高知県で検討されている経営対策と連携計画はどのようにちがうのか。

（委員）

・県が支援を打ち出す策を検討しているもの。市町村の連携計画に基づき、事業者が実施していくが、それに対して県が支援する。

（委員）

・本連携計画の中で、どれが重要な施策と考えているのか。

（事務局）

・アンケート等の町民意見を踏まえ、バス路線の幹線・支線体系への再編、西条市との連携、有償ボランティア輸送であると考えている。幹線支線と有償ボランティアをあわせて実施することが必要である。バス停まで5kmも距離があることを町民意見から把握しており、路線バスと有償ボランティアの連携が必要であると思う。道の駅の結節点機能は代表的な施策である。観光振興にも役に立つと考えている。

（委員）

・重点施策の2番目として、西条市との連携があがっているが、結節点整備の方が重要ではないか。順

番を変えてもいいのではないか。

(委員)

・仁淀川など、町外との連携も重要である。

(事務局)

・西条市等町外との連携とする。仁淀川とは、スクールバスの一般混乗で対応予定である。

(委員)

・スケジュールとして、22年に検討し、23年に実施となっているが、もっと早く実施できないのか。

(事務局)

・有償ボランティアはガイドブックを作り、町民に話をして進める。早くできれば取り組んでいく。幹線・支線は事業者との調整に時間がかかるので、一年間時間をとっている。

(委員)

・委員の任期は、2カ年なので、あと1年ある。具体的な協議があるので、引き続き検討して頂きたい。

・計画の承認をお願いしたい。賛成の方は挙手お願いします。

(全員賛成により、承認された)

・ダイジェスト版については、町外との連携の箇所を修正しておく。

## 5. その他

(事務局)

・吾北地区のスクールバスの一般混乗の変更を行いたい。三水線の3路線で使っているバスを、番号1のバスと入れ替え、一般混乗できるようにする。車両を入れ替え、三水線は登録したままで、利用者もいないので、一般混乗は休止する。スクールバスは走らせる。

(委員)

・承認して頂きたい。

(承認された)